

OPC入会后8年を過ぎようとしています。振り返るに当時の「クリック」表紙は瀬川先輩の描く会員と会員の顔を「輪」で描く表紙でした。なんてこんな素敵な似顔絵を描く人がいるのだろう！と感心しきりでした。

聞くと身近な瀬川先輩であることにびっくり、OPCにはいろんな世界からの会員が顔をそろえていることに気付き、これからもまたまた人生を楽しめるんだな～と感じたものでした。

入会してからのパソコン業界の変化というか進歩は凄まじいものがあり、変化についていくのも課題のひとつでした。

よく考えて見ると、変化こそが進歩と捕らえれば、また挑戦する気持ちになれるのでしょうが当時はそれよりもまず、何でも知らないことへの挑戦というか、興味の方が先走り無我夢中であったことを思い出します。95から始まり98、98は少しは長く続きましたが専門誌の紙上はもうビスタばかり、ところがビスタの評判が周りからの評判があまりよくない。足踏みしているとあちこちでXPの響きが聞こえてくる。

まるで車業界の世界だ。出し渋り、次に出す機種を出し渋り市場を見極めながら機種を変えていく。

一方、使う側でも各人OSがちがうパソコンを持ち合わせ、指導する立場のスタッフも進行に戸惑った時期が続いたものです。

その間、ボランティアで活動していたクラブも教室を閉じた例をあちこちで耳にしたことです。

その間、Windowsが出始めたころ区内の学校ではいつまでもXPを使っているわけにも行かず、なぜならば学校で教わったPCの操作と我が家にあるPCの機種が違うために操作に迷いを感じ、受講する生徒もすこしずつ減って行く。例会の帰り新入会員から「今店で売っている機種はすべて8か8, 1 なんです、操作が違い、どうすればいいのですかね？」と質問され、まだ自分でも8におぼつかない知識で答えるに苦慮した思いがあったことを思い出します。



— 次ページへ続く —